

卒業生のキャリア状況調査

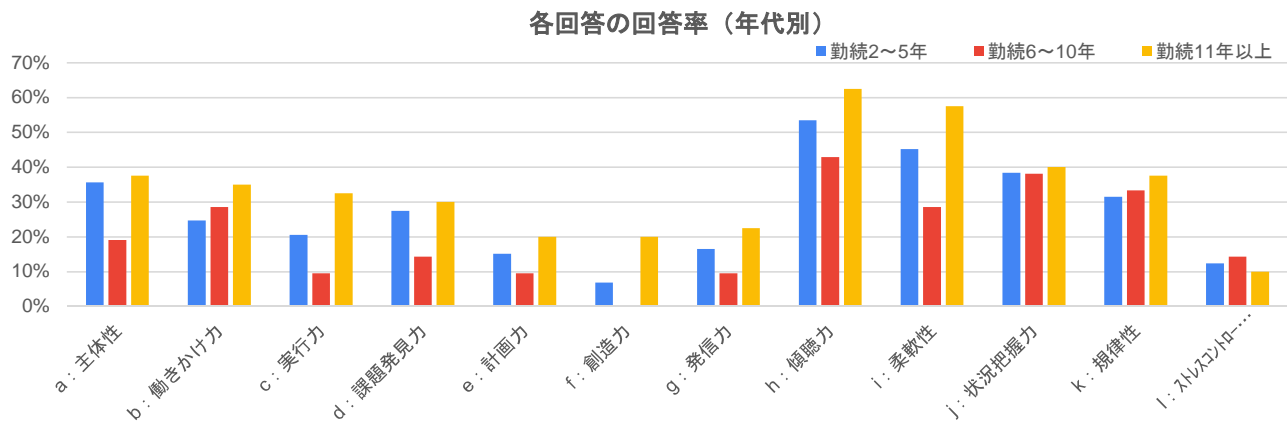
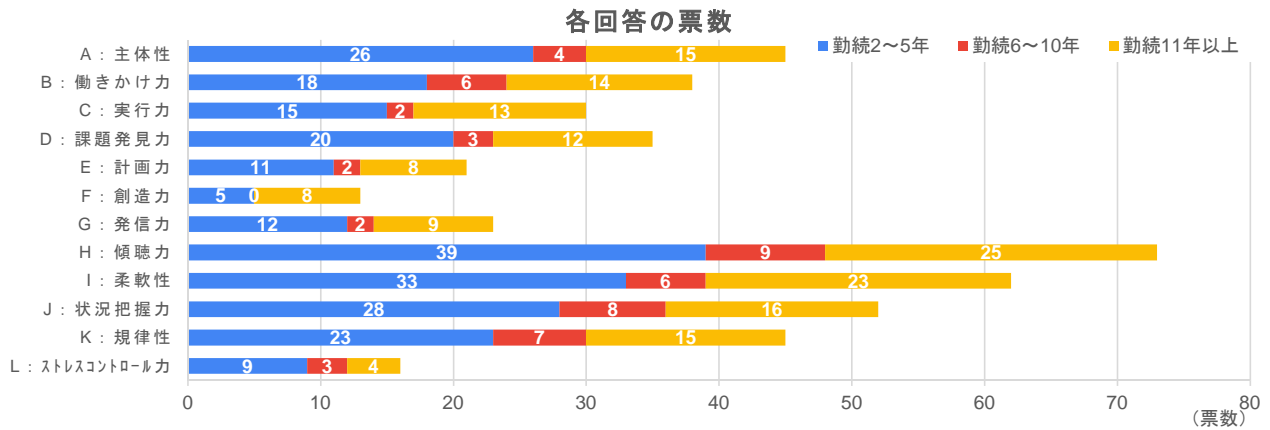
卒業生のキャリア（就職・進学等）の状況の把握と教育活動等の改善のため、就職に関する卒業生アンケートを実施した。以下は、その集計結果である。

調査対象：本学卒業後2年以上を経過した卒業生
調査時期：2023年3月～9月

回答者の内訳

	社会福祉	教育心理	スポーツ	健康科学	経済	国際福祉	看護	福祉経営	短期大学	計
勤続年数2～5年	43	10	2	3	11	2	0	2	0	73
勤続年数6～10年	16	1	0	1	1	0	0	2	0	21
勤続年数11年以上	25	0	0	2	2	0	0	8	3	40
計	84	11	2	6	14	2	0	12	3	134

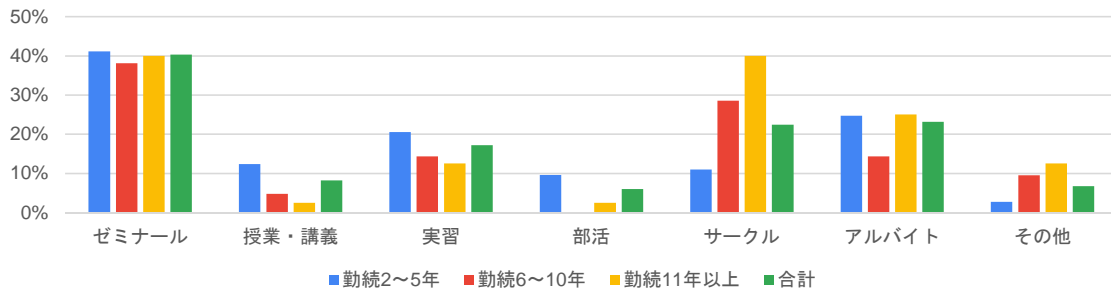
1. 現在の仕事で活かされている能力で、本学での学びや経験から培ったと思う能力（複数回答）



培った能力	勤続年数ごとの回答						計	
	2～5年		6～10年		11年以上			
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
a: 主体性	26	36%	4	19%	15	38%	45	34%
b: 働きかけ力	18	25%	6	29%	14	35%	38	28%
c: 実行力	15	21%	2	10%	13	33%	30	22%
d: 課題発見力	20	27%	3	14%	12	30%	35	26%
e: 計画力	11	15%	2	10%	8	20%	21	16%
f: 創造力	5	7%	0	0%	8	20%	13	10%
g: 発信力	12	16%	2	10%	9	23%	23	17%
h: 傾聴力	39	53%	9	43%	25	63%	73	54%
i: 柔軟性	33	45%	6	29%	23	58%	62	46%
j: 状況把握力	28	38%	8	38%	16	40%	52	39%
k: 規律性	23	32%	7	33%	15	38%	45	34%
l: ストレスコントロール力	9	12%	3	14%	4	10%	16	12%

2. 上記の能力を培った主な場面（複数回答）

各回答の回答率（年代別）



培った能力	勤続年数ごとの回答						計	
	2～5年		6～10年		11年以上			
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ゼミナール	30	41%	8	38%	16	40%	54	40%
授業・講義	9	12%	1	5%	1	3%	11	8%
実習	15	21%	3	14%	5	13%	23	17%
部活	7	10%	0	0%	1	3%	8	6%
サークル	8	11%	6	29%	16	40%	30	22%
アルバイト	18	25%	3	14%	10	25%	31	23%
その他	2	3%	2	10%	5	13%	9	7%

3. 本学に期待すること（自由記述）

■勤続年数2～5年

大学での学びに関する記述

- グループワークを主体にした講義やKJ法を使用した講義などを行っていたので様々な人と関わる小売業という面で大きなアドバンテージを得ていたと思うので今後はPDCAサイクルを回していきながら日々の業務にあたるという考え方を教えていける環境を生まれると学生が更に成長を見せると思う。
- 座学だけではなく実技をもっと交える、高齢や障害など幅広い学びの場はあったが専門的な学びの場がもう少しあったらよかった
- たくさんの経験をすることで社会に出た時に応用ができると思うので実践に近づけた教育
- 座学で学んだ事全てが現場で役に立つのかというのは、全く別問題なので、現場実習の告知やボランティア活動を勧める制度を取り入れ、学生に興味を持ってもらえるようにしてほしいです。
- 実習含め、介護現場での実情などに触れる機会を多く設け、ギャップの少ない状態で社会に出ていける様学んで頂きたいです。
- 実際の現場・情報等に触れる機会が増える事
- 福祉教育の最先端としてあってほしいです
- 福祉について学びそれを多くの人に広められる人材を育成することです
- 勉強だけではわからない現場の現状を知る
- 学んだことを業務に実践できる社会福祉士
- 実習生の態度などをもっと改善してほしい
- 専門的技術、知識を身につけること
- 実践的な講義を増やす
- 福祉の知識教育
- 主体性があり、柔軟な思考をもつ学生の育成
- 福祉の魅力を発信できる人の育成、自分の仕事に誇りを持つこと
- これからの福祉業界がより良いものにできる人材が現れること

キャリア開発に関する記述

- 介護分野における担い手の育成
- 介護福祉現場への就職
- たくさん人間を介護現場に就職してもらおう
- 福祉に興味のある人材を多く自治体に輩出して欲しい
- 自分とはどういう人間でありたいかある程度決めておく
- もっと取れる資格を増やしてください
- 社会に出た時の適応能力
- コミュニケーション能力
- 臨機応変に対応できる力
- 礼儀で誠実さのある人になるといいと思います

その他

- 福祉に関わる職業の待遇向上の推進
- 福祉をもっと身近に
- 学生が満足できる学校にしてください
- 日本福祉大学と名乗るだけでもとても好印象いただけます。今後も名乗るのを恥ずかしいと思わない学校でいてください。
- 学生と繋がるといいと思います。知識のアップデートもできるし双方メリットがあると思います。
- 卒業生や在学生とのつながり
- 就職後の連携
- 資格習得や実習以外での福祉施設との関わりが増えること。
- 少子化等に負けず存続を期待しています。
- 福祉大学として、規模を拡大すること。

- ・ 部活動の強化
- ・ 健やかに卒業生を送り出して欲しい
- ・ より多くの後輩を育ててほしいです！

■勤続年数6～10年

大学での学びに関する記述

- ・ 実習の充実
- ・ 支援が必要な子や家庭への支援についての知識
- ・ 高齢者福祉について

キャリア開発に関する記述

- ・ 専門的な知識の学習と色んな資格が取得できること
- ・ 社会・会社に柔軟に対応していける人材の育成
- ・ 自主的に働ける人材の育成
- ・ 経験上、早い段階(2年生ぐらい)から、社会的マナーなどの研修を取り入れていくと良いと思う。※すぐに身につくものではないため。

その他

- ・ 出身大学を言うだけで、「福祉に対してきちんと学んでいる」というイメージが持たれているところだと思う。とても良い印象を持ってもらえていると思うため、今後も素敵な人材を育てて頂けたらと良いと思う。
- ・
今は、AIとかネット環境の充実等、便利な時代だけど、福祉職は対人との仕事なので、福祉職への興味や関心を広げられると良いな、と思っています。興味があれば、ボランティアやアルバイトに繋がるとうれしいです。仕事内容等、なかなか今の社会と合う条件は厳しいかと思いますが、福祉専門の大学なので、福祉の良さを伝えて欲しいと、思っています。
- ・ 愛知県内、岐阜県内での福祉の現場で多くのOB OGと出会います。これからも多くの卒業生が福祉の第一線で活躍し、円滑な関係を作れるようにしていただきたいと思っています。
- ・ 都会への移転
- ・ 生き抜く力
- ・ 次世代の育成
- ・ 即戦力

■勤続年数11年以上

大学での学びに関する記述

- ・
15年前のことなので現在はわかりませんが、自分が在学していたときは近藤直子先生やながさわ先生など、学外での社会運動も通じて社会福祉のあり方を示してくれていました。共に学んだ学生たちも、自分たちが社会に何を還元できるか考えていました。福祉大で過ごした4年間は自分にとって本当に価値のある経験だったと思います。講義時間が増えたりカリキュラムの制約も厳しくなっていると思いますが、教授たちの裁量でもっとフィールドワークなどにでていけると学生たちの学びも実態に基づいたものになっていくと思います。福祉大で学んだ学生が社会福祉の現場でリーダーとなっていけるよう期待しています。
- ・ ハートフルな学生の教育です。私自身、御校で多くの優しい仲間にも救われたと思っています。是非同様な学生さんが増えること期待しています。
- ・ これからの時代のニーズを受け入れられる心の深さ、柔軟な発想や対応、福祉が必要な人だけでなく、その周りにも配慮できる人の育成。チーム連携や将来的な管理職候補に必要とされる能力の習得、リーダーシップ論などが今後の役に立つと思われる。
- ・ 利用者を思いやる心を持った人を育てて欲しい
- ・ 福祉制度の中にある福祉ではなく、個人や社会のニーズに応える福祉を創る人材を育ててほしいです
- ・ 社会福祉の使命を担う事が出来る人材育成
- ・ 子どもたちとあそびたい！と、願う保育者を育ててほしいです。
- ・ 基礎的な知識の習得
- ・ 現場で先進的な活動をしている卒業生と学生との交流の場を持ち、より実践力のある学生を育てる。
- ・ 福祉基に、人を大切に思うこと
- ・ 社会福祉の基礎を学んだ学生を現場におくりだしてください。

キャリア開発に関する記述

- ・ 資格を活かせる仕事について、楽しく働ける仲間になってくれるような人を育て上げてほしいです。
- ・ 福祉の現場で働く担い手を育ててほしい。
- ・ 保育園や福祉職場への就職を
- ・ 福祉大学に学び、社会福祉の道を目指す若い世代に期待します。
- ・ 柔軟な考え方をを持った学生を育ててほしい
- ・ 学生へ主体的に物事を考え、実行できる場を積極的に設けていただきたいです。
- ・ 主体性、創造力、協調性が持てる学生の育成
- ・ 社会性
- ・ 介護、福祉の仕事をする人間を1人でも増やして欲しい
- ・ 多くの卒業生が就職して欲しい
- ・ 学生がいろいろな会社で活躍して欲しい

その他

- ・ 人材不足である福祉業界の魅力を発信する。福祉現場で働く卒業生と学生をつなぎ共に考えるような学習を取り入れて実践力のある学生を増やす。
- ・ 社会福祉政策全般、法整備など含め、国への働きかけ。
- ・ 福祉全般におけるフォローアップ
- ・ 社会に出たあとのフォロー
- ・ 地域の福祉事業との橋渡し
- ・ 現在に至るまで素晴らしい学生が多いので、いつまでも誇れる学校であってほしいです。
- ・ 変わらぬ部分も大切にいただければ。
- ・ 次世代の育成